

会員各位へ 理事会・通常総会の結果について 会長 鮫島一彦

2021年（令和3年）6月28日（月）

## 結果報告

このお知らせは、令和2年度の臨時総会から引き続き新しい運営組織「会長諮問委員会」のメンバーを中心に、多くの方々のご意見を参考にしながら検討を重ねて実施した、理事会・総会の議決結果についてです。

結果は、賛成多数で議題が承認されました。現在新しいホームページにも結果の一部を掲載しています。また、ネット環境に無い会員・非会員その多くの方々にも周知することを目的として報告作業を進めています。

## 令和3年度の活動

さて、ケナフ協議会は、議決承認していただいた新しい体制でこれからの活動を行っていきます。

2021年度（令和3年度）の事業方針は、郵送でお届けした総会資料にもありますように次の3項目

- ①会員の加入促進
- ②ケナフ協議会の知名度向上
- ③KB プロジェクトの第2段階の推進（実行組織・団体の設定と調査）

を柱をもとに、公正中立な特定非営利活動法人として社会教育の推進と文化の向上を図る活動の基盤整備と活動を持続させるための組織の基礎を作ることです。

皆さんのできるところから、活動への参加をよろしくお願いします。

## 沖縄について知る機会に

沖縄の新しい事務局は沖縄本島中央の恩納村にあり、素晴らしいオーシャンブルーを楽しめる、自然豊かで、日本屈指のリゾート地であります。

ケナフ協議会は、新しい体制で沖縄の人々、国内外の関係者とも協働しながら未来を展望する必要があります。また、本来の活動をどう展開するかについては世界的なSDGsの取り組みとも連携していく必要があります。

さて沖縄は、6月23日「沖縄戦から76年」をむかえた慰霊の日でした。現在、世界的なコロナ禍は引き続いており、沖縄にあっても慰霊の日の行事等も充分できない状態です。私はNHK ラジオ深夜便6月23日(水)のアーカイブスの聞き逃し番組「特集：沖縄戦から76年」で、国吉真一氏の「私は鉄血勤皇隊員だった」を聞いて感動しました。

皆さんも是非沖縄の関連情報を勉強して沖縄の人々の真正（Jenuine）の姿を知る機会にして、さらに沖縄を含めた今後の方向性を各自で考えて、行動してください。